

## 【3】団塊世代等社会参加促進のための調査研究(拡充)

平成20年度概算要求額:291百万円

(平成19年度予算額:35百万円)

事業開始年度:平成19年度

事業達成年度:平成21年度

### 主管課

生涯学習政策局社会教育課 (課長:平林 正吉)

### 関係課

### 事業の概要

高齢者や団塊世代が、これまで職業や学習を通じて培った経験を活かして、学校、地域社会で活躍(再チャレンジ)できるよう、全国規模での「教育サポーター」制度の創設に向けた検討等を行う。平成20年度は、平成19年度の実態調査及び検討の結果を踏まえ、全国の教育委員会等で当該制度が導入されるよう普及を図る。

### 必要性

「再チャレンジ可能な仕組みの構築(中間とりまとめ)」(平成18年5月)では、高齢者・団塊世代の再チャレンジ支援のための簡易な資格制度を創設・拡充し、高齢者・退職者の活躍の場を拡大するとしている。

また、「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」(中間報告)では、高齢者に対する支援策、かつ地域社会全体で学習活動を支援する方策として、高齢者や団塊世代が活躍する場である社会教育施設や学校等へ派遣する教育サポーター制度を創設するとされている。

### 効率性

(事業アウトプット)

教育サポーター制度の活性化を図るための調査研究の結果や、教育サポーター制度創設検討委員会におけるトライアル事業委託先への助言を活かしつつ、全国で、教育サポーター制度を創設するための取組が推進される。また、教育サポーター制度PR用パンフレット等を作成し、関係機関等に配布する。

(事業アウトカム)

選定されたトライアル事業を実施して成果を普及するとともに、広報資料を作成・配布することにより、全国的に同様の取組が促進されることが期待される。

### 有効性

(施策目標)

施策目標1-2 地域の教育力の向上

(上位目的のために必要な効果が得られるか)

省内に設置する教育サポーター制度創設検討委員会で、標準的な教育サポーター制度を提示するとともに、トライアル事業委託先で試行し、全国にその取組が展開してゆけば、団塊世代や高齢者が、職業や学習を通じて培った経験を活かし、学校や地域で活躍する機会が拡大し、地域の教育力の向上が図られる。

### 公平性、優先性

本事業は全国を対象としており、公平性は担保できると判断する。また、団塊世代の退職後の在り方については、既に大きな社会的問題となっており、優先性は高いものと判断する。

### 18年度実績評価結果との関係

特になし

### 広報計画

一般的広報以外の特徴的な広報活動としては、教育サポーター制度PR用パンフレットを作成し、関係機関等に配布する。

### 備考

特になし

# 団塊世代等社会参加促進のための調査研究 - 教育サポーター制度の創設 -

20年度概算要求額 291百万円 (35百万円)

## 【背景】

1947年から49年生まれ「団塊の世代」は約669万人。2007年から60歳に達する。働いている人の6割強が、定年後も何らかの形で働きたい(内閣府調査(17年))  
社会のために役立ちたいと思っている人は約6割(内閣府調査(18年2月))  
学習した経験を公的な機関が認証して、どの地域や団体でも通用するようにすることが良いと考える人が約3割存在(内閣府調査(17年5月))  
再チャレンジ可能な仕組みの構築(中間取りまとめ)では、高齢者・団塊世代の再チャレンジ支援のための簡易な資格制度を創設・拡充し、高齢者・退職者の活躍の場を拡大するとしている。



## 団塊世代等が職業や学習を通じて培った経験を活かして、教育分野で活躍

### 「教育サポーター制度」創設検討委員会

#### トライアル事業の実施

#### 教育サポーター制度のイメージ

看護師

健康、予防医療に関する高度な知識・技術

工業技術者

化学や物理、工学に関する高度な知識・技術

海外勤務経験者

外国語や海外文化に関する高度な知識・能力

知識・技術・適性等を判断の上、研修を受講

【研修】

共通講座【講義】  
40時間程度

- ・生涯学習の概念
- ・地域の特性・現状
- ・指導者の役割・在り方など

共通講座 + 専門講座【講義・実習】  
計80時間程度

- ・指導計画の立て方
- ・学習ニーズの動向
- ・学校の教育方針
- ・安全管理・模擬講座

施設実習  
【学校・博物館等】

認証・登録・情報提供

- ・中高年の健康相談員
- ・図書館で健康のレファレンスサービス補助

- ・子どもの工作教室の講師
- ・小学校の理科実験補助

- ・博物館での外国語案内
- ・学校で英語授業を補助

#### 広報啓発

手引書の作成  
啓発ポスター・ちらしの作成  
など

成果の活用

学校・施設で高齢者等活用の実態調査等

#### 検討内容

- ・トライアル事業委託先の選定
- ・トライアル事業実施のための助言(委員派遣)
- ・トライアル事業の成果の全国的な視点からの評価、検証

「教育サポーター」制度の標準的なモデルを、より実効性の高いモデルへ修正

### 標準的な教育サポーター制度の構築

団塊世代や高齢者が、経験を活かし、現役で活躍する機会が拡大